

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立高部屋小学校
-----	-------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
A問題	【国語】目的や意図に応じて収集した情報を関係づけながら話し合ったり、目的に応じて図表と関連づけて読み取ったりすることはできている。 【算数】単位量当たりの大きさの求め方や除法の計算の確かめの方法を理解している。	【国語】漢字やローマ字の書きや読みについて、繰り返し練習や色々な場面で使うなどして定着を図っていく必要がある。 【算数】1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係理解を一層図る必要がある。また、除法の性質を用いて小数の除法を整数の除法に置き換えて計算する活動を取り入れ、理解の定着を図る必要がある。
B問題	【国語】目的や意図に応じ、複数の文章を選んで読んだり、文章を比べて読んだりするなど効果的な読み方を工夫することができている。 【算数】示された条件を基に他の正方形について検討し、同じ決まりが成り立つかどうかを調べることができている。また、複数の表から読み取ることができる事柄と読み取ることができない事柄を判断することはできている。	【国語】目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかき、記述することに課題がみられる。 【算数】算数の問題場面で見出したことを、図形の構成要素に着目して、論理的に考察することに課題がある。また、グラフから読み取ったことを根拠に、示された事柄が正しくない理由を記述することに課題がある。
質問紙	自尊意識や規範意識、将来に関する意識等は良い傾向にある。仲間と一緒に創り出す喜びや達成感を味わい、話し合ったり、みんなの前で発表したりする経験が多く、学校生活への満足度も良好とみられる。学校を支えている家族間でのコミュニケーションの割合が高く、地域の催し物へ参加協力もよくしている。	読書量とその習慣が十分定着しているとは言えない。また、家庭での学習の習慣について、宿題以外の勉強はしない傾向が見受けられ、テレビやゲーム、DVDの利用度は高い傾向にある。早寝や朝食の習慣もここ数年、徐々に低くなりつつある。国語や算数の学習が社会に役立つとは言えないと考える割合も高い傾向にある。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>■言語活動の充実 国語では、誰に対してどのような目的で表現し、発表するのかをしっかりと押さえ、効果的な表現の工夫について考えさせるなど言語活動の充実を努めていく。 算数では生活に根ざした課題を取り上げ、多くの情報の中から必要な情報を選択したり、理想化したりしながら既習事項を活用するなどの改善に取り組んでいく。式と図表を使って、自分の考えをわかりやすく説明する力を育てていきたい。</p> <p>■ノート指導の充実 「発表する」「意見を言う」その前に、書かせるという活動を取り入れることで、考えが整理できたり、自分の足りないところに気付いたり、振り返ったりする学習効果を図り、ノート指導の充実を努めていく。また、一定の観点を示しながら、自分の考えを記述できるようにする。</p> <p>■学習のねらい 振り返り、まとめの導入 授業の前に今日のめあてや課題を明示し、授業の終わりにまとめや振り返りを授業に取り入れていく。</p> <p>■読書に親しむ取り組みを推進 授業の関連で読書活動を積極的に取り入れるなど、読書環境の充実と共に本に親しむ働きかけを今後も継続していく。</p>
--

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項) ※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<p>質問紙調査では、生活習慣をはじめとして、家庭や地域で子どもを見守り、健やかな成長を支えていただいている様子が見て取れました。地域の催し物に積極的に関わるなど、高部屋の地域性がよく表れていました。 しかし、昨年までと同傾向にある家庭での学習時間、テレビ、ゲームへの利用傾向、読書の習慣など、今後も引き続き学校と家庭で共に考えていかなければならないと思います。家庭学習については、学校の宿題を一つの目安として、お子さんに合った内容や量の学習を行っていくことや家庭学習の習慣作りが大切だと考えます。学校の指導だけでは十分な成果が上がるものではないので、各家庭においても協力をお願いいたします。またテレビやゲームの使用時間について利用時間が多い傾向があります。スマホの利用についても同様です。今後ますますその普及が小学生にも広がり、SNSによるいじめ等が心配されています。子どもの生活習慣づくりと共にインターネットや携帯利用の時の約束事を設ける等、ご検討していただきたいところです。</p>
--